

暮らしのSDGs 学習会

2015年にパリ協定が策定された時から、このままの各国の取り組みでは、最終目標である「世界の気温上昇を1.5度に抑える」ことには届かないと心配がありました。このため、パリ協定は5年ごとに世界全体の取り組み進捗を評価し、一方ではそれを踏まえた各国の削減目標等を5年ごとに提出しなおさせるという5年サイクルを設けることで、不断の改善を各国に促す仕組みを組んでいます。このうちの前者、「5年ごとの世界全体での取り組み進捗評価」が「グローバル・ストックテイク」と呼ばれ、今回COP28において、その最初の結論を出すことになっていました。その結果について学習していきたい。

<第196回 暮らしのSDGs学習会>

- 1, 日時=2024年3月8日(金) 13:30~15:30
- 2, 会場=流山市生涯学習センター(3F) 大会議室
<http://nagareyama-shougaigakushucenter.jp/access.html>
- 3, 内容=気候変動対策、どこまで進んでる?
初の評価を実施した「COP28」の結果
- 4, 講師=筒井 義憲(千葉県地球温暖化防止活動推進員、OBN会員)
- 5, 定員=18名(定員に達した場合は締切ります)。
今回もZOOM発信はありません。
- 6, 申込 =増永 弘(Tel:090-7819-9700、Fax:04-7158-3481)
E-Mail ko-zoei@shirt.ocn.ne.jp

主催	: 暮らしのSDGs学習会
実施	: 温暖化防止ながれやま(略称OBN)

<次回予定>

日時=令和6年4月12日(金) 13:30~15:30

会場=流山市生涯学習センター

内容=生物多様性ながれやま戦略について(仮題)

講師=未定